

ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース											
専攻実技 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	渡邊具義/田中亮輔 田中綾美/藤本健一			実務 経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
メジャーレーベルアーティストのサポートプレイヤーとしてコンサート実演、レコーディング等の実務経験を持つ。 他長年にわたり個人やグループ等の器楽技術、音楽理論等のレッスン経験を有する。											
授業概要											
譜面を読み、読んだ音符を音にできるようにする授業。3週に1回曲を変え、少しずつ読譜のスピードアップをしていく。授業で学習した内容を実践して、体感で確認する。セッションの基本的な考え方を覚える。											
到達目標											
前期後期で合わせるジャンルの違う課題曲で、常にバンド全体のアンサンブルでの音を意識して、周りとの適切な音量のバランス、その曲に合った音色、バックিং等で楽曲を演奏し、それぞれが順に自由なアドリブを演奏できるようになる。											
授業方法											
楽器の各コースで練習した課題曲を演奏。メンバーを入れ替えながらセッション。ポイント解説。他メンバーのセッションからも学ぶ。ギターは、楽曲のテーマを担う事が多い楽器であるので、しっかりとした事前準備が必要になる。											
成績評価方法											
試験・課題 成果発表 平常点	70% 20% 10%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 積極的な姿勢									
履修上の注意											
課題曲に対する下準備。譜面は忘れずに必ず持ってくること。特に、ギターはテーマ(メロディー)の譜面を読んでおく必要がある。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	テーマ演奏 譜面の確認 進行の確認 譜面を理解し曲を覚える										
第2回	インプロビゼーション授業の内容を実践する										
第3回	曲全体を通してまとまりのある演奏をする										
第4回	テーマ演奏 譜面の確認 進行の確認 譜面を理解し曲を覚える										
第5回	インプロビゼーション授業の内容を実践する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／プレイヤーコース	
専攻実技 1	
第6回	曲全体を通してまとまりのある演奏をする
第7回	テーマ演奏 譜面の確認 進行の確認 譜面を理解し曲を覚える
第8回	インプロビゼーション授業の内容を実践する
第9回	曲全体を通してまとまりのある演奏をする
第10回	テーマ演奏 譜面の確認 進行の確認 譜面を理解し曲を覚える
第11回	インプロビゼーション授業の内容を実践する
第12回	曲全体を通してまとまりのある演奏をする
第13回	マイナーペンタトニックの効果的な使用
第14回	マイナーペンタ+メジャーペンタ
第15回	表現力の付け方に関して